

開校式

開校!!

4月9日(月)、6小学校が統合し、新しい『智頭小学校』が開校しました。開校式では、杉本仁詞校長が「初めて全校で合唱した校歌はとっても元気が良く、みんなにパワーをもらいました。それぞれの学校で頑張ってきた良いところを合わせ、思いやりを大切にして過ごしましよう」と挨拶しました。



元気に校歌を歌う児童たち

いっぱい人がいてちょっと恥ずかしいけど、友達をたくさん作って仲良くしたいです。



平井 彩葉さん
(3年)

友達がいっぱい出来てうれしいです。ケンカをしないように仲良くなしたいです。ドッジボールや体育をするのが楽しみです。



坂本 雅治くん
(3年)

こんなに人が多いのは初めてだから緊張するけど、明るく元気よく過ごしたいです。



寺坂 琉登くん
(5年)



赤堀 仁美さん
(6年)

4月10日(火)新入生40人を迎えて、第1回入学式が行われ、全校児童283人の智頭小学校がスタートしました。



児童代表 坂本 千苗さん
(6年)



緊張した面持ちの新入生

入学式

閉校式

智頭小学校

地域の教育拠点として

智頭中学校校舎改築へ
(完成イメージ)



改築設計業者が決定!

智頭町教育委員会では、平成24年度着工、25年度末完成目標の智頭中学校全面改築に向け、建築専門家、中学校関係者及び町民代表者で構成する審査委員会を設置し、設計業者選定のため指名設計競技を実施しました。

3月4日 審査委員打合せ…審査基準及び採点表の説明

3月14日 設計参加業者5社への公開ヒアリング(設計説明、質疑応答)

3月15日 審査採点表の集計結果に基づき議論。合議により全会一致で決定。

以上の手順で、最優秀設計業者に(株)白兎設計事務所が選定されました。

今後は、業務契約を交わし、基本設計、実施設計を経て工事に着手することになります。「智頭中学校改築事業指名設計競技審査委員会」委員長(鳥取環境大学遠藤由美子准教授)の総評は、次のとおりです。

審査の視点は、設計審査採点表に沿って大きく8項目にわたったが、いずれも「智頭町らしさ」が貫いたキーワードだった。特に、審査員からの質疑は、智頭の資源を活かすための木材の活用、学校生活を豊かにするための工夫や配置、現状の周辺施設との連携、安全のための配置計画と管理運営のしやすさなどだった。3月15日の審査会では、ヒアリングの結果をふまえて、2作品に絞り込みさらに検討を進めた。

この2作品は、いずれも魅力ある中学校建築案であり、特に次点案の空間的魅力は捨てがたいものだったが、配置やコストについてより合理性がみられるという点で(株)白兎設計事務所を最優秀作品業者と決定した。【以上抜粋】

問合せ先 役場教育課 ☎ 75-3112

3月24・25日(土・日)に智頭・富沢・土師・那岐・山郷・山形の6小学校で閉校式が行われました。それその長い歴史に幕を閉じました。学校旗が教育委員会に返還され、

山形小学校では閉校記念イベントとして長い直線廊下(全長80m)を利用した60mの巻き寿司作りに200人以上が挑戦しました。



途中で切ることなく見事完成!!